



RESONA

りそな銀行アジアニュース

2019年6月12日
りそな銀行 国際事業部

【りそなマーチャントバンクアジア】

「シンガポールの2018年の賃上げ調査について」

2019年5月29日、シンガポール人材開発省(MOM)は、2018年の賃上げ調査報告書を発表した。報告書によると、シンガポール民間企業の年間名目賃金総額(基本給、中央積立基金(Central Provident Fund: CPF、日本の年金に相当する)の雇用主拠出分やボーナス、諸手当等を含む)の平均賃金上昇率は前年の3.8%から4.6%に上昇した。2年連続で前年の伸びを上回った。基本給(CPFの雇用主拠出分を含まない)のみの賃金上昇率は前年の3.6%から4.0%に上昇した。

インフレ調整後の賃金総額と基本給はそれぞれ4.2%(前年は3.2%)と3.6%(同3.0%)となった。ボーナスの支払月数は2.06ヵ月となり、前年の2.00ヵ月をわずかに上回った。職位別の昇給率(基本給やボーナス等を含む)は、一般社員が4.2%、管理職が4.9%だった。いずれも17年の3.8%を上回った。

【シンガポールの名目賃上げ率推移】

(%)

年	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
総賃金	4.9	-0.4	5.7	6.1	4.2	5.3	4.9	4.9	3.1	3.8	4.6
基本給	4.4	1.3	3.9	4.4	4.5	5.1	4.9	4.2	3.5	3.6	4.0

【シンガポールの実質賃上げ率推移】

(%)

年	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18
総賃金	-1.7	-1.0	2.9	0.9	-0.4	2.9	3.9	5.4	3.6	3.2	4.2
基本給	-2.2	0.7	1.1	-0.8	-0.1	2.7	3.9	4.7	4.0	3.0	3.6

【2018年の産業別の名目総賃金上昇率、名目基本給上昇率】

(%)

業種	総賃金上昇率		基本給上昇率	
	2017年	2018年	2017年	2018年
製造業	4.2	4.2	3.2	4.1
建設業	2.0	2.8	2.6	2.8
サービス業	3.9	4.8	3.7	4.1
卸売業	3.2	4.5	3.4	4.0
小売業	3.6	3.0	3.7	3.1
物流・倉庫業	3.3	4.4	3.3	3.4
ホテル業	2.2	4.5	2.7	3.8
飲食業	4.2	3.8	4.2	3.8
通信業	3.9	5.0	3.7	4.1
金融・保険業	4.2	6.3	4.0	5.3
不動産サービス業	3.1	5.0	3.6	3.4
専門サービス業	4.3	5.4	3.8	4.4
全体	3.8	4.6	3.6	4.0

報告書は18年12月18日から19年3月19日まで回答があった(回答率87%)従業員数10人以上の民間企業約5,300社を対象とした調査に基づく。全体で120万人の従業員数。うち、1年以上勤務の現地正社員は58万4,100人で、1年未満勤務またはパートタイム現地労働者は18万7,900人だった。外国人労働者は42万8,000人。

【出所: "Report on Wage Practices 2018" Ministry of Manpower】

照会先: 国際事業部 (東京) 電話 03-6704-3332
(大阪) 電話 06-6268-1907

当資料は、信頼できると思われる情報に基づいて作成しておりますが、弊行がその正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前の連絡なしに変更されることもあります。当資料は情報提供のみを目的としており、何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、お客様御自身でご判断下さいようお願い致します。

* 禁無断転載